

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第3回 民間活力をいかした高松市中央公園再整備検討委員会
開催日時	令和6年1月29日(月) 13時30分～15時
開催場所	高松市防災合同庁舎 3階 301会議室
議 題	1. 第2回委員会の振り返り及び市民等から寄せられた御意見について 2. 中央公園再整備基本設計の考え方について 3. その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	西成委員長、野沢委員、長井委員、稲毛委員、片山委員、直寫委員、中橋委員、黒木委員、菊地委員、奥村委員、濱崎委員、野崎委員、大塚委員、山崎委員、神余委員
傍 聴 者	14人 (定員20人)
担当課及び 連絡先	公園緑地課計画係 087-839-2494

### 会議の経過及び結果

第3回委員会を開会し、次の議題について協議及び意見聴取し、下記の結果となった。

(1) 第2回委員会の振り返り及び市民等から寄せられた御意見について

資料1について、事務局より説明し、各委員より次のとおり意見があった。

(中橋委員)

- ・樹木は基本的に保全としているが、報道でも話題になっている、カラスが高木にとまることによっておこる「ふん害」についてどのような対策を検討しているか。

(事務局)

- ・間引きと剪定のセットで高木の管理を検討している。管理レベルを上げつつ、利用者が快適に利用できる環境にしていきたい。

(西成委員長)

- ・樹木の密植箇所は風通しが悪く、虫が発生し、鳥の餌となるなど考えられる、人が適切に手を入れて管理することが求められる。

## (2) 中央公園再整備基本設計の考え方について

資料2 中央公園再整備基本設計の考え方について、事務局より説明し、各委員より次のとおり意見があった。

(西成委員長)

- ・提示された計画では、全体を回遊する園路が配置されたことで、中央公園だけで完結せず新たな通過交通が発生する計画となっている。
- ・夜間景観の計画では、夜間に多くの人を訪れることが予想され、まちの動きが変わることが実現できるのではないか。

(長井委員)

- ・夜間ライトアップについて、ランニングコストはどれくらいであるか。
- ・高松市は脱炭素化を目標に掲げているが、どのように対応するのか。

(事務局)

- ・現在の照明灯は、更新時期を迎え、照度についても6割～7割程度にとどまっている。
- ・ランニングコストを踏まえた上で照明計画をさせていただいており、電気料金については現在よりも下がる見込みである。
- ・脱炭素化についても、新設するフットライト、ソーラー照明灯は太陽光発電によるもの、アーシングエリアでは、畜光材を使つての夜間演出など、脱炭素化に貢献できるものは活用していく計画である。

(濱崎委員)

- ・意見箱に陸上部の学生からの意見が多く挙がっている。園路はどのような舗装材を検討しているか。ゴム製の舗装材を検討してはどうか。
- ・アメリカフウを新たに植栽することは、四季を感じられてよい計画であると感じる。落ち葉についての管理はどのように考えているか。

(事務局)

- ・園路の舗装材については、バリアフリーの観点や、事業費等も考慮しながら、実施設計で取りまとめていきたい。土のままでは砂埃等の課題もあるが外周園路は基本的には土で残す方向で検討している。
- ・アメリカフウは、樹形が美しい樹木だが、落ち葉の課題はある。管理レベルで実現できる景観は大きく変わるため、再整備後の公園の管理運営形

態についても、実施設計と合わせて検討する。

- ・アイパル香川の南側に落ち葉などの一次集積所としての管理用スペースを想定している。

(西成委員長)

- ・「パークマネジメント」の考え方をもって計画することが重要である。
- ・公園全体の管理は市が行うだけでなく、民間活力を生かして行っていくのがよいのではないか。

(菊池委員)

- ・園路の舗装計画について、ランニング者等に配慮いただけたらと思う。
- ・モニュメントについて、公園の魅力や価値の向上に活用するとのことだが、具体的な計画があれば教えていただきたい。
- ・アイパル香川の建築は芦原義信の作品であるが老朽化している。また、アイパル北側のアプローチ部分は流政之の作品もあると聞いている、管理が行き届いていないので、今回の整備のうち、モニュメント活用の中で一緒にできたらと思う。
- ・夜間照明は生息する生物に影響がある。生物に対する配慮は検討しているか。

(事務局)

- ・園路計画は二重になっており、外側園路は、散歩やジョギングコースとして計画している。
- ・モニュメントがあることで、まちの歴史などについて市民の理解が深まる。わかりやすく整理し、アイパルとも連携する、HPに掲載するなど工夫していきたい。
- ・夜間照明の生物への配慮については部分的に点灯する、時間設定を行うなどを検討したい。

(野沢委員)

- ・照明については夜間明るくなることは安全面や観光面で賛成である。
- ・公園北東部の交番は撤去されるのか確認したい。

(事務局)

- ・警察との協議を経て、交番は同じ場所に残ることとなっている。

(直島委員)

- ・芝生については人工にするのか天然にするのか、また、種類はどのように考えているか。

(事務局)

- ・多目的芝生広場、木陰広場は天然芝を検討しており、イベントなど多くの利用者の踏圧に対応するティフトン芝を採用したい。
- ・キッズ広場は利便性から人工芝を想定している。

(稲毛委員)

- ・ライトアップについては賛成である、併せてイベント時や週末などカフェの営業時間や形態について弾力的に運用いただけたらと思う。

(野崎委員)

- ・ベーカリーカフェを計画している、社員雇用も含めて、朝や夜の営業時間・形態について検討していきたい。

(黒木委員)

- ・夜間照明について、神戸の東遊園地でも照明を明るくすることで犯罪がないと聞いた、経費の関係もあると思うが、なるべく明るくし、防犯上安全であるという方針でいていただきたい。
- ・冬場でも緑が残る芝を選定してほしい。神戸の東遊園地でも実験を重ねて芝を選定したと聞いた、それらも参考にしたらよいのでは。
- ・能登半島地震を受けて、中央公園でも防災機能について加えていただきたい。計画されている芝生広場は、十分な面積があり避難場所として利用できる。また防災トイレの活用も検討すべきである。

(事務局)

- ・夜間景観について、安全・防犯の観点からも検討する。
- ・芝生の種類については、実施設計で検討を重ねていきたい。
- ・現状は、災害発生時に住民が緊急的・一時的に避難する指定緊急避難場所に位置付けている。また、耐震性貯水槽（100立方メートル）、かまどベンチ、防災トイレが設置されている。

(大塚委員)

- ・南東側エントランスから市役所方面の歩行者動線上に木陰デッキがあり、デッキ上で休憩する方と歩行者が交錯するため、動線確保についてお伺いしたい。
- ・園路について、歩く方と走る方と様々の方が利用するため、幅員の考え方についてお伺いしたい。

(事務局)

- ・南東エントランスは中央通り沿いに別途段差のない入口を想定している。階段状になっているデッキ部分のご指摘の通り休憩者と歩行者の交錯が想定されるので詳細設計の中で工夫していきたい。
- ・園路幅員は、高齢者、障がい者等の利用に関するガイドライン等を参照した上で3mとした。

(西成委員長)

- ・ご指摘の通り、南東部エントランスは、瓦町駅方面からの動線は多いと想定される。歩行者動線は余裕を持って確保し、動線以外の場所に滞留空間を創出すると

良い。

(山崎委員)

- ・植栽計画については、既存樹木が保全され、様々な意見が反映された計画となっている。
- ・多目的芝生広場が二つに分断されているが、使い分けについては、どのように考えているか。
- ・ステージ設置場所の大きさの根拠は？

(事務局)

- ・広場については、園路計画が二重になっており、外側園路は、散歩やジョギングコースとして計画し、内側園路は散策者を想定している。カフェ利用者と活動的な公園利用者が重ならないように園路を配置したことで、このような形状となっている。
- ・過去のイベントの規模をもとにステージ規模を計画している。

(中橋委員)

- ・平日の利用は0~3歳の子どもや、シニアの利用が多いと考えられる。多様な人が交流できる仕掛けや広場の名前だと良い。
- ・多目的広場のイメージ図は家族連ればかりであるが、時代にあった多様な利用が見られるようなイメージとして欲しい。

(事務局)

- ・資料では年齢別としているが、キッズ広場は人工芝を予定しており、0~3歳の子どもたちもはだしでも遊べる、また、誰もが遊べるインクルーシブ遊具を設置する、併設するシェルターでは大人や高齢の方が休憩する、休憩しながらこどもを見守ることができる等、様々な利用者が利用できるよう検討している。ご指摘のとおり、イメージ図、ネーミングについてもすべての人々を対象とした公園であることが分かるよう工夫してまいりたい。

(神余委員)

- ・キッズ広場を人工芝で計画されているが、夏場熱くなりすぎない素材、乾きやすい、転んでも痛くならない、水はけがよい等、子どもや周辺の樹木環境に優しい芝となるよう検討して欲しい。
- ・落葉樹の落ち葉については、たい肥にする等の再利用等は検討しているか。

(事務局)

- ・キッズ広場は木陰を確保するよう計画しており、そういったもので温度管理を行えたらと検討している。また、噴水施設も計画しており、夏場の遊び場となり、暑さ対策として利用していただけたらと思う。
- ・落ち葉の再生については、たい肥場所の確保等も踏まえ検討したい。

(西成委員長)

- ・動線計画について意見が多く挙がったが、北東のメインエントランスから人の流れをつくるためにもスクランブル交差点の計画も有効である。

(野沢委員)

- ・北東エントランスは現状市民にエントランスとして認識されていないと思う、こちらをメインとするのであれば、委員長の指摘のように、交差点から平面で公園へ入れるようなことが必要である。
- ・南東エントランスからの人の流れがメインであると思うので、南東エントランスについてもしっかり計画し、商店街とも連携が図れるように検討いただきたい。

今回示された計画案の方向性で設計を進めることを確認し、会議を終了した。

### 3. その他

- ・今後のスケジュールについて、4月上旬に第4回委員会で取りまとめを行う。
- ・2月中旬に中央部のトイレについて、市職員（建築職）によるデザインコンペを行う。結果は委員の皆様へ書面にて報告する。

以上